

令和3年8月5日

産業経済局 物流拠点推進室

## 第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州貨物鉄道施設保有株式会社
会社概要	会社の事業概要	1 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付 2 倉庫業 3 駐車場業 4 広告業 5 前各号に付帯関連する一切の事業
	資本金額	400,000 千円
	本市の出資額	196,000 千円
	本市の出資割合	49.0 %
	従業員数	2 人
営業報告の要点		<p>施設の維持管理については、北九州貨物ターミナル駅において、電子連動装置延命化工事、入換信号機等 LED 化工事（第1期取替工事）、東機待7番線電車線取替工事、軌道変移超過箇所整備、総合事務所外壁塗装修繕工事、給油装置（2組）給油機取替工事を日本貨物鉄道株式会社の施工で行った。</p> <p>収支状況について、日本貨物鉄道株式会社からの施設貸付料収入は、286,765 千円（前期比 -1.9%）となった。</p> <p>また、売上原価・販売費及び一般管理費は 225,423 千円（前期比 -1.7%）となった。</p>
収支状況の要点	当期純利益	2,685 千円
	前年度との比較	<p>○営業利益は、61,341 千円で、前期比 1,428 千円（-2.3%）の減となった。</p> <p>○経常利益は、7,227 千円で、前期比 2,591 千円（55.9%）の増となった。</p> <p>○当期純利益は、2,685 千円で、前期比 298 千円（12.5%）の増となった。</p>
	その他 (剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など)	北九州貨物ターミナル駅整備（門司貨物拠点整備事業）及び鹿児島線鉄道貨物輸送力増強事業に係る借入金について、196,400 千円の返済を行った。
繰越利益剰余金		8,596 千円
株主総会 (令和3年6月24日開催)	監査報告	監査役が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1) 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 第22期計算書類承認の件</li> <li>・ 第2号議案 取締役1名選任の件</li> <li>・ 第3号議案 監査役1名選任の件</li> </ul> <p>いずれの議案も異議なく承認可決</p> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第22期事業報告の件</li> </ul>

(令和3年3月31日現在)

# 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## 令和2年度 経営状況報告

令和3年8月5日  
産 業 経 済 局

## 第 2 2 回定時株主総会

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 開催日時 令和 3 年 6 月 2 4 日（木曜日） 1 6 時 0 0 分より
  
2. 開催場所 福岡県北九州市小倉北区浅野 1 丁目 1 番 1 号  
ステーションホテル小倉 7F「響の間」
  
3. 目的事項
  - 【報告事項】 第 2 2 期（令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで）  
事業報告の件
  
  - 【決議事項】
    - 第 1 号議案 第 2 2 期（令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで）  
計算書類承認の件
  
    - 第 2 号議案 取締役 1 名選任の件
  
    - 第 3 号議案 監査役 1 名選任の件

## 第22回定時株主総会議案書

### 報告事項

第22期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）事業報告の件  
（別紙）

### 決議事項

第1号議案 第22期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）計算書類承認の件  
（別紙）

第2号議案 取締役1名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第20条により、取締役の任期は、2年と定めており、現 大庭千賀子取締役が任期満了前に辞任されます。

よって、下記のとおり、取締役1名の選任をお願い致します。

取締役候補者は、次のとおりです。

取締役候補者名	略歴等
池 冨 紳 也	新任・略歴等別紙

第3号議案 監査役1名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第33条により、監査役の任期は、4年と定めており、現 高田修監査役が任期満了前に辞任されます。

よって、下記のとおり、監査役1名の選任をお願い致します。

監査役候補者は、次のとおりです。

監査役候補者名	略歴等
成 瀬 浩 司	新任・略歴等別紙

# 第 22 期

〔 令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月 31日まで 〕

# 事業報告

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## 事業報告

〔 令和 2年4月 1日から  
令和 3年3月31日まで 〕

### I. 株式会社の現況に関する事項

#### 1. 事業の経過及びその成果

平成11年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助並びに北九州市の門司鉄道コンテナターミナル整備支援事業費補助を受け着手した、門司貨物拠点整備事業の設備が平成14年3月に完成し、また平成19年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した、鹿児島線（北九州・福岡間）鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成23年3月末に完成しました。

これら施設の当該事業年度における維持管理は、北九州貨物ターミナル駅において、電子連動装置延命化工事、入換信号機等LED化工事（第1期取替工事）、東機待7番線電車線取替工事、軌道変移超過箇所整備、総合事務所外壁塗装修繕工事、給油装置(2組)給油機取替工事、福岡貨物ターミナル駅においては、コンテナ案内板取替工事を日本貨物鉄道株式会社施工で実施しました。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っておりますので、今後とも鉄道施設の維持・管理に努めてまいります。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、286百万円となり、長期借入金返済については、みずほ銀行へ59百万円及び日本政策投資銀行へ136百万円の返済を行いました。

売上原価194百万円、販売費及び一般管理費は30百万円となっております。

以上のような状況のもと、経常利益は7.2百万円、特別損失2.2百万円となり 当期純利益は2.6百万円となりました。

#### 2. 当社が対処すべき課題

当社の主たる事業は、国、並びに北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守・維持管理が重要となっております。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的の使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と、適正な保守及び維持管理に努めてまいりますとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら、着実な長期借入金の返済を行ってまいります。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令等により、社会経済活動が大きく停滞しており、ワクチンの接種が準備される等、改善への兆しも見え始めてはいるものの先行きは依然不透明な状況であります。物流業界においては、巣ごもり需要等により宅配便をはじめとした一部の品目において輸送量が伸びており、貨物鉄道も回復傾向にあります。さらに「カーボンニュートラル」が政府の政策目標として掲げられ、グリーン社会・持続可能な社会に向け、各企業における事業活動においてより一層SDGsやESGへの配慮が求められるようになっており、環境特性や労働生産性に優れた貨物鉄道が果たす役割への期待はますます高まっていくものと思われれます。この様な状況に因應するため、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め地域の発展に寄与してまいります。

3. 資金調達の様況

当期は、増資はありません。

4. 直前3事業年度の財産及び損益の様況

区分	期	第19期	第20期	第21期	第22期
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	(当期) 令和元年度
売上高	(千円)	312,664	298,461	292,187	286,765
経常利益	(千円)	4,263	4,691	4,636	7,227
当期純利益	(千円)	2,807	2,461	2,387	2,685
1株当たり当期純利益	(円)	350.94	307.70	298.38	335.66
総資産	(千円)	3,107,265	2,914,486	2,723,864	2,531,632
純資産	(千円)	401,062	403,523	405,910	408,596

5. 主要な事業内容及び事業所

(1) 事業内容

当社は、(i) 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付、(ii) 倉庫業、(iii) 駐車場業、(iv) 広告業、(v) 前各号に付帯関連する一切の事業を営むことを目的としております。

(2) 事業所

本社所在地 北九州市門司区大里新町11番1号

6. 使用人の様況

令和3年4月1日現在

性別	従業員数	記 事
男子	1名	契約社員
女子	1名	契約社員
計	2名	

7. 主要な借入先及び事業別の借入残額

(単位：百万円)

事業名	門司事業	鹿児島モーダル事業	合計
借入銀行			
日本政策投資銀行	86.0	528.0	614.0
みずほ銀行	795.0	692.5	1,487.5
計	881.0	1,220.5	2,101.5

II. 株式に関する事項

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1. 発行可能株式の総数 | 32,000株 |
| 2. 発行済株式の総数  | 8,000株  |
| 3. 株主数       | 3名      |
| 4. 株主名       |         |

株主名	持株数	持株比率	株主への当社の出資状況
日本貨物鉄道株式会社	3,920株	49.0%	なし
北九州市	3,920株	49.0%	なし
株式会社みずほ銀行	160株	2.0%	なし
計	8,000株	100.0%	

### Ⅲ. 会社役員に関する事項

#### 1. 取締役及び監査役の氏名等

令和3年4月1日 現在

氏名	地位	他の法人等の役職
中川 哲朗	代表取締役社長	日本貨物鉄道(株) 九州支社長
小西 一史	専務取締役	常勤取締役
大庭 千賀子	取締役	北九州市 企画調整局長
辻 誠治	取締役	北九州市 港湾空港局長
金谷 淳史	取締役	日本貨物鉄道(株) インフラ整備推進部長
(小計)		(5名)
高田 修	監査役	(株)みずほ銀行 営業第十五部副部長
三輪 敦	監査役	日本貨物鉄道(株) 財務部副部長
(小計)		(2名)
合計		7名

(注) (1) 取締役 大庭千賀子氏、辻誠治氏及び金谷淳史氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(5) 監査役 高田修氏及び三輪敦氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

#### 2. 取締役及び監査役の報酬等の額

(単位：千円)

区分	人数	報酬等の額	適用
取締役	1名	8,221	



# 第 22 期

令和 2年 4月 1日 から  
令和 3年 3月 31日 まで

## 計 算 書 類

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

# 貸借対照表

令和 3年 3月31日 現在

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

代表者 中川 哲朗

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>【 I 流動資産】</b> 現金・預金 前払費用 未収還付法人税等	<b>【</b> 60,375 <b>】</b> 59,685 192 497	<b>【 I 流動負債】</b> 1年以内返済長期借入金 未払費用 未払利息 未払法人税等 未払消費税等 預り金	<b>【</b> 212,130 <b>】</b> 196,000 188 4,604 2,338 8,795 204
<b>【 II 固定資産】</b> 有形固定資産 建築物 構築物 機械・装置 建物付属装置 工具器具備品 土地 減価償却累計額	<b>【</b> 2,471,257 <b>】</b> ( 1,665,795 ) 305,843 3,610,777 45,078 53,751 1,039 10,503 △ 2,361,197	<b>【 II 固定負債】</b> 長期借入金 役員退職慰労引当金	<b>【</b> 1,910,906 <b>】</b> 1,905,500 5,406
		負債の部合計	2,123,036
		純資産の部	
無形固定資産 電話加入権 鉄道軌道連絡通行 施設利用権	( 805,195 ) 72 805,123	<b>【 I 株主資産】</b> 1. 資本金 2. 利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	<b>【</b> 408,596 <b>】</b> 400,000 8,596 8,596 8,596
投資等その他の資産 繰延税金資産	( 266 ) 266	<b>【 II 評価・換算差額等】</b>	<b>【</b> 0 <b>】</b>
		純資産の部合計	408,596
資産の部合計	2,531,632	負債・純資産の部合計	2,531,632

(注) 1. 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株あたりの当期純利益 335円66銭

## 損 益 計 算 書

令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月 31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
【売上高】		
施設貸付料		286,765
【売上原価】		
租税公課	26,016	
減価償却	166,453	
補償負担金手数料	2,430	
		194,900
売上総利益		91,865
【販売費及び一般管理費】	30,523	30,523
営業利益		61,341
【営業外収益】		
受取利息	281	281
雑収入		
【営業外費用】		
支払利息	54,395	54,395
経常利益		7,227
【特別損失】		
固定資産除却損	2,223	2,223
税引前当期純利益		5,004
法人税、住民税及び事業税	2,081	
法人税等調整額	237	2,319
当期純利益		2,685

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 販売費及び一般管理費の計算内訳

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

役員報酬	8,221,200
出向者負担金	0
従業員給与	6,456,920
従業員賞与	1,802,496
法定福利費	2,599,374
福利厚生費	135,900
役員退職慰労引当金繰入	1,370,200
通勤費	433,432
租税公課	2,997,728
旅費交通費	401,124
通信費	328,650
広告宣伝費	485,250
交際費	382,220
保険料	110,050
消耗品	136,466
減価償却費	138,775
地代家賃	289,830
修繕費	0
賃借料	1,429,000
車両費	181,452
管理諸費	1,498,600
図書新聞費	120,272
諸会費	97,500
少額備品	40,783
リース料	768,060
寄付金	1,000
会議費	46,328
公告料	0
支払手数料	51,000
雑費	0
合計	30,523,610

## 棚卸資産の計算内訳

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

商品	0
製品	0
貯蔵品	0
仕掛品(半製品)	0
合計	0

## 株主資本等変動計算書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月 31日まで

(単位:円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		400,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		400,000,000
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		5,910,819
	当期変動額		
	当期純利益	2,685,335	2,685,335
	当期末残高		8,596,154
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		5,910,819
	当期変動額		
	当期純利益	2,685,335	2,685,335
	当期末残高		8,596,154
株主資本合計			
	当期首残高		405,910,819
	当期変動額		
	当期純利益	2,685,335	2,685,335
	当期末残高		408,596,154
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純資産の部合計			
	当期首残高		405,910,819
	当期変動額		
	当期純利益	2,685,335	2,685,335
	当期末残高		408,596,154

# 第 2 2 期

令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月 31日まで

## 計 算 書 類 に 係 る 附 属 明 細 書

(会社法第435条2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価格	当期			期末 帳簿価格	減価償却 累計額	取得原価
			増加額	減少額	償却費			
有形固定資産	建物	156,361			8,757	147,604	158,238	305,843
	建物附属設備	2,843			720	2,123	51,627	53,751
	構築物	1,617,417		2,164	111,022	1,504,230	2,106,547	3,610,777
	機械及び装置	1,618		58	382	1,177	43,900	45,078
	器具及び備品	295			138	156	882	1,039
	土地	10,503				10,503		10,503
	計	1,789,040		2,223	121,021	1,665,795	2,361,197	4,026,992
無形固定資産	電話加入権	72				72		72
	通行施設利用権	850,693			45,570	805,123	535,187	1,340,310
	ソフトウェア						4,960	4,960
	計	850,765			45,570	805,195	540,147	1,345,342
総計	2,639,805		2,223	166,592	2,470,990	2,901,344	5,372,334	

(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

2. 引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	0	0	0	0
賞与引当金	0	0	0	0
役員退職慰労金	4,036	1,370	0	5,406
退職給付引当金	0	0	0	0

(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

※引当金計上理由及び算定方法は計算書類の会計方針に記載のとおりです。

# 第 22 期

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

## 個 別 注 記 表

北九州貨物鉄道施設保有株式会社



## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法
  - (1) 有形固定資産  
定額法を採用しています。
  - (2) 無形固定資産  
定額法を採用しています。
2. 引当金の計上基準
  - (1) 役員退職慰労引当金  
役員が役員退職慰労金支給に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。
3. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。
4. リース取引の処理方法
  - (1) 平成23年度までのファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。
  - (2) 平成24年度以降のファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、リース資産会計処理を行っております。
5. ヘッジ会計の方法
  - (1) ヘッジ会計の方法  
金利スワップの特例処理を行っている。
  - (2) ヘッジ手段とヘッジ対象  
当事業年度にヘッジ会計を適用した手段とヘッジ対象は以下のとおりです。  
ヘッジ手段：金利スワップ等のデリバティブ取引をヘッジ手段としています。  
ヘッジ対象：長期借入金
  - (3) ヘッジ方針
    - ① 金融取引における将来の金利変動等によるリスクを回避する目的で行っております。
    - ② 金利スワップは実需の範囲内で行っており、投機的な取引は行わない方針であります。

## II. 貸借対照表に関する注記

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額    | 2, 361, 197千円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務 |               |
| (1) 短期金銭債務           | 0千円           |

### III. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との営業取引の取引高総額 286,765千円

### IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済総数 普通株式 8,000株

### V. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生原因内訳

未払事業税	266千円
合計	266千円

### VI. 関連当事者との取引に関する注記

1. 名称 日本貨物鉄道株式会社

取引内容 営業取引

議決権割合	49%
営業収益	286,765千円
営業外収益	0千円
営業費用	1,429千円
営業外費用	0千円

### VII. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額 51,074円51銭

2. 一株当たり当期純利益金額 335円66銭

### VIII. 会計方針の変更

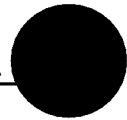
特記無し

(注) VII以外の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

令和 3 年 5 月 28 日

北九州貨物鉄道施設保有株式会社  
代表取締役社長 中川 哲朗 殿

監 査 役 三 輪 敦



監査報告書の提出について


会社法第381条1項の規定に基づき、別紙のとおり監査報告書を作成いたしましたので提出いたします。

以 上

令和 3 年 5 月 28 日

## 監査役監査報告

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

監査役 三輪 敦 

第 2 2 期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で調査を行い、監査を実施しました。監査にあたっては、管理部の職員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求め調査を行いました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以 上

経 歴 書

- 1 氏 名 池永 紳也 (いけなが しんや)
- 2 生年月日 昭和41年 8月18日 (54歳)
- 3 主な職歴 昭和62年 4月 北九州市入職  
平成12年 7月 経済局国際経済部国際経済課主査  
平成21年 4月 病院局総務課長  
平成24年 4月 総務企画局人事部人事課長  
平成27年 4月 総務企画局女性の輝く社会推進室長  
平成29年 4月 企画調整局東京事務所長  
令和 2年 4月 産業経済局企業立地・農林水産担当理事

経 歴 書

- 1 氏 名 成瀬 浩司 (なるせ こうじ)
- 2 生年月日 昭和47年 5月 8日 (49歳)
- 3 主な職歴 平成 8年 4月 日本興業銀行入  
大阪営業第四部債券班配属  
  
平成10年 5月 同行 外国為替部輸出班  
  
平成11年 6月 同行 外国為替部営業第二班  
  
平成14年 4月 みずほコーポレート銀行  
外為業務部営業推進チーム  
  
平成14年 7月 同行 京都営業部営業チーム  
  
平成18年 7月 同行 大阪営業第二部営業第一チーム  
部長代理  
  
平成21年10月 同行 ストラクチャリング部 調査役  
  
平成24年 4月 同行 営業第九部営業第一チーム  
部長代理  
  
平成25年 7月 みずほ銀行 営業第九部営業第一チーム  
上席部長代理  
  
平成28年 4月 同行 営業第十五部営業第二チーム  
次長  
  
令和 3年 5月 同行 社会・産業基盤第二部鉄道運輸チーム  
次長 (現職)